

東日本大震災では多くの動物も被災しました。

私たちにできることで少しでもお役にたてることがあれば・・・とボランティア活動に参加するのも一つの選択肢かと思います。

そこで、ボランティアに参加する際の注意、心構え等についてお知らせします。

☆ボランティアに参加する時の注意

動物に接するボランティアの心構えの基本として

まず、「自分のペットではないこと」をしっかりと認識しましょう。

飼育の仕方、しつけなど地域性によって異なります。

また、被災し、飼い主と離れ、慣れない生活によるストレスで

神経質的な状態にある動物もいます。

活動に際しては、現地スタッフの指示に従って注意事項やルールを

守って活動しましょう。

活動の三原則は「動物を逃がさない。ケガをさせない。ケガしない」です。

(社) 日本愛玩動物協会 HP より

☆寒川町に福島県など被災地から保護された犬や猫が 200 匹～400 匹います。

一般社団法人 UKC JAPAN(ユナイテッドケネルクラブに認定犬種の日本での登録、発行を行っている団体。詳しくは HP 参照) が動物の保護をし、ボランティアを募集しています。寒川町は茅ヶ崎からも近く、ボランティアに参加を希望される会員の方もおられますので、UKC JAPAN でのボランティアについてご案内いたします。

☆主なボランティアの内容

保護された犬や猫のお世話 (犬の散歩、食事、コミュニケーションなど)、シェルターの清掃、支援物資の整理等です。

☆場所は「十二天」の交差点近くの日立物流の倉庫を一時借りているそうです。

服装、時間帯、その他については「UKC JAPAN グローリータツズ湘南」の HP をご覧ください。お茶やタオル、軍手などは必需品です。ネームプレートを会員の S さんが作ってくださったので役員が預かっています。ご連絡の上、お越しく下さい (ただしネームプレートなしでも、問題はございません)。車で行く場合、UKC JAPAN には原則として駐車できませんが、会員の S さんのご尽力で (6 月～7 月末まで) ある場所に止めることができるようになりました。役員までご連絡ください。場所をお教えします。